

広報

あさくら

public relations of Asakura



contents

- 02 羽ばたけ！ 20歳！
- 04 追悼 中村 哲 医師
朝倉とアフガニスタンとの懸け橋
- 06 介護予防サポーターで
生きがいづくり！
- 08 市国保の現状



羽ばたけ！

特集

朝倉市
成人式

20歳！





羽 ばたけ！ 20 歳！

令和2年 朝倉市 成人式

令和初の成人式！
朝倉市の新成人は499人

1月12日、ピーポート甘木で第14回朝倉市成人式が行われ、新たに市内で成人を迎えた462人が出席し、大人への一歩を歩み出しました。

式典は、梨子木亜美さん（甘木中学校出身）の司会で進行。

式辞では、林市長が「『ふるさと朝倉』を取り戻すためには、未来を担う新成人の皆さんの力が必要です。これからも『ふるさと朝倉』とつながっていきましょう。『ふるさと朝倉』はいつでも皆さんを応援しています。失敗を恐れず、勇気を持って新しい世界に飛び込んでいってください」と新成人へ激励と祝いの言葉を述べました。

家族や友人、恩師に感謝
「ふるさと」への思いを胸に

新成人誓いの言葉では、古賀有紗さん（比良松中学校出身）が新成人を代表して登壇。

未曾有の豪雨で大きな被害を受けた故郷を思い、「以前と同じ故郷をもう一度見たいという強い願いのもと、復興に尽力する人々の団結力、小さな子どもからご年配の方まで、多くの励ましと助け合いを目にしてきました。この温かい恩を、社会や朝倉市に貢献して生きていくことで返していきたい。私たちがこの場に集い、笑顔で成人式を迎えることができたのは支えてくださったすべての方々と、隣にいる大切な仲間たちのおかげです」と、朝倉の復興と発展の力となる決意と感謝の思いを述べました。

その後、釜堀末名さん（十文字中学校出身）が林市長から記念品を受け取りました。

式典のフィナーレには、アトラクションDVD「二十歳の原点」を上映。スクリーンに小・中学生時代の写真や恩師からのインタビュー映像が映し出されると、新成人たちは友人と笑顔で談笑。会場は大きな歓声と拍手に包まれました。



新成人
20歳のひと
成人式を迎えた感想や
これからの夢・目標



「緑の大地計画」と山田堰

2002年、中村医師は、干ばつで荒れ果てた農村の復興のため「緑の大地計画」を立案。2003年、マルワリード灌漑水路建設を開始します。取水堰の築造にあたり、全国各地の堰を訪れ「山田堰」にたどり着いた中村医師。洪水にも耐えた石積み自然堰に注目し「電力が利用できず、土木資機材の搬入が困難で、単純機械による建設、地元住民による維持管理を考えたとき、これに優るものはない」と山田堰をモデルとすることを決意しました。

第二の山田堰完成

「山田堰」は、水流に対して川底に石を斜めに敷き詰めた、現存する全国唯一の「傾斜堰床式石張堰」。江戸時代に古賀百工が考案し、約64万人の先人たちの手で築造されました。中村医師は、何度も山田堰を視察。山田堰土地改良区や関係機関のサポートを受けてその工法を研究し、川岸で堰を一日中見つけていることもありました。



2010年、7年の歳月をかけて全長25・5キロのマルワリード用水路が開通。アフガニスタンに山田堰モデルの取水堰が完成しました。その後、改良・改修を繰り返し、2019年には、山田堰の機能を徹底的に模倣したカマ第I・II堰が完成。現在では、堰幅が550メートルのものなど9カ所の堰が設けられ、65万人が帰農することができました。

山田堰を世界に発信

山田堰を視察した際に「世界に誇れる山田堰をもっと国内外に発信すべき」と、当時の山田堰土地改良区事務局長徳永哲也さんに語った中村医師。マルワリード用水路の完成とともに、中村医師が国内外で広く山田堰を紹介したこともあり、山田堰は2014年に世界かんがい施設遺産に登録されました。

追悼 中村哲医師

朝倉とアフガニスタンとの懸け橋 ～緑の大地計画への思いと山田堰～

山田堰をモデルにした取水堰で 荒野を農地へ変えた中村哲医師

日本から直線距離で西に約6300キロに位置するアフガニスタン。日本の約1.7倍の大地は、戦乱や干ばつで荒れ果て、砂漠が広がっていました。

中村医師は、1984年にパキスタンのペシャワールに赴任。その後、アフガニスタンで医療活動を開始し、水不足による赤痢やコレラが急増したため、飲料用井戸約1600カ所の掘削など水利事業にも着手。さらに、2010年には、山田堰をモデルとした取水堰を築造し、現在では1万6500ヘクタールの荒野を農地に変え、アフガニスタンの人々に希望を与えました。

また、中村医師は日本のみならず、世界各地で「山田堰」について発信し、堰の保全や知名度アップに貢献されました。

今回は、昨年亡くなられた中村医師の功績をたどり、朝倉とアフガニスタンのつながりにスポットを当てます。



▲視察団へ説明する徳永哲也さん（右から3人目）
【平成30年7月】

中村医師が朝倉とアフガニスタンに懸けた橋は、今後も後世に引き継がれ、多くの人々に希望を与え続けます。

《写真提供・協力》
・ペシャワール会
・山田堰土地改良区

朝倉とアフガニスタンとの懸け橋 中村哲医師を偲ぶ会 ～緑の大地計画への思いと山田堰～

日時 **2月24日**（月・休）9時30分～

場所 **朝倉地域生涯学習センター 文化ホール**
（宮野1997）

中村医師の活動を長年現地で取材してきた谷津賢二さん（日本電波ニュース）の講演も行われます（内容などは変更となる場合があります）。

問 **山田堰土地改良区**（☎52-0531）
市農林課（☎52-1115）



中央図書館では追悼上映会を開催します。
※詳しくは、21ページをご覧ください。